

■就学前教育・保育施設の今後のあり方について

公立幼稚園・保育園の課題

- 【幼稚園】 少子化が進む中、園児数が減少
 ・園児数の減少により集団教育・行動に支障
- 【保育園】 保育ニーズの多様化、待機児童の恒常的な解消
 ・保育園入所児童数は穏やかな増加傾向にある。
- 【共通】 小1プロブレムの解消、施設の老朽化等による耐震化に課題

教育改革審議会・保育園運営懇談会の各答申を踏まえた検討

幼稚園（市立 14 園）

羽曳野市における今後の幼小中一貫教育のあり方、並びに公立幼稚園教育のあり方について（答申）
 （羽曳野市教育改革審議会 H27. 3）

- ◆羽曳野中学校区の幼小中一貫教育についての提案
- ◆公立幼稚園のあり方について提案

保育園（市立 5 園）

羽曳野市保育園の運営等のあり方について（答申）
 （羽曳野市保育園運営懇談会 H16. 8）

- ◆本市の保育園運営の基本的な方向性
 - ・今後の保育園運営についての提案
 - ・入園の徴収金（保育料）のあり方についての提案
 - ・市立保育園の統廃合についての提案

答申等を踏まえた市の取り組み

- ◆向野第 1、第 2 保育園の統合（H19 年度）
- ◆下開、駒ヶ谷保育園の統合の検討
 ⇒駒ヶ谷保育園の閉園（H22 年度）

※施設老朽化や耐震化等、課題継続中

就学前教育・保育施設のあり方に関する「ビジョン」

就学前児童の教育・保育の一体的な実施を確実なものとするため、幼稚園・保育園施設のあり方に関する大きな方向性を示していく。